保護者による事業所評価結果

公表：令和６年３月１日

事業所名　　岐阜市立恵光学園　　保護者等数（児童数）　50人　回収数　50人（100%）

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	39	11	0	0	・教室以外の場所でも2階や園庭があり、活動によって場所を変えて楽しめるようになっている。 ・公園に行ったりするから走ったり出来るし、限られたスペースでの遊びを自分で考えさせれるから何も問題ない。 ・教室が少し狭いように感じる。 ・去年より教室が狭くなったような気がする。親子登園のときは余計に狭く感じる。 ・ロッカーももう少し広いと使いやすい。 ・夏は教室が暑過ぎるので、どうにかならないかと思う。	教室は、児童発達支援センターの指定基準を満たしているものの十分な広さとは言えずご不便をおかけしています。引き続き、遊戯室や園庭、テラスなど施設内のスペースを活用し、親子で安全な活動が提供できるよう努めてまいります。 また、地域の公園や施設も活用し、子どもたちの活動や遊びが広がるよう活動内容を工夫してまいります。
2	職員の配置数や専門性は適切であるか	39	5	1	5	・たくさんアドバイスをいただいています。 ・息子の特性や性格などをしっかり理解した上で関わって下さっているなと感じています。 ・フロアリーダーの先生は特に経験豊富で色々知って見える。クラスには3人先生がみえて、病気の特徴を理解して状態に応じた対応して下さる。 ・専門性などは定期的に勉強会などが開かれているようなので、近隣の保育園や幼稚園の先生よりは専門性があると思いました。 ・今のクラスはずっと恵光学園にいる先生＋保育所等で働いてみえた先生がいるので障がいや癇癪などに関する困り事は〇〇先生、幼稚園での悩み事は〇〇先生と分けて色々話を聞いてもらえるのがありがたかった。 ・今後移行通園クラスがあるのであれば、今のクラスのように1人は保育所等で働いていた先生がいると親としてもアドバイスをもらえたり相談ができるので嬉しいと思う。 ・療育的な専門性がある方とない方の差が大きい。 ・専門性は担任による。 ・主担任の専門性にバラつきがある。 ・国基準は満たされていると思いますが、特性や発達遅滞のある子たちばかりなので、単独通園が多いと先生達がとても大変そうに感じます。 ・休憩や連絡ノート記入でどうしても対応できる先生が減る時間帯があるので、特にその時に感じます。 ・活動によって先生達が大変そうだなと感じる時もありました。	職員の専門性や支援の質につきましては、継続的に取り組むべき課題として、様々な研修の機会等を通して自己研鑽し、専門的な知識と技術の向上に努めてまいります。また、職員がコミュニケーションを図りチーム支援を強化し、今後も保護者の方とともに子どもの成長を見守っていくことができるよう取り組んでまいります。 児童発達支援センターの職員配置基準は、児童４：職員１ですが、恵光学園ではクラス担任を３：１で配置し、加えて各フロアーにフリーのフロアリーダーを配置しています。 時間帯により担任が不在になる場合は他の職員が交替で支援に入るように調整し、子ども達が安全に過ごすことができるように配慮していますが、充分でない場面がありご心配をおかけして申し訳ありません。今後も職員体制を工夫して、チーム支援によりカバーし充実した支援の提供に取り組んでまいります。

3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境※ｉになっているか。 また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41	7	0	2	・目からの情報が最優先になってしまうので、活動で使用した道具やおもちゃを終わった後、見えない所に片付けてくださるのはとても助かります。 ・一人ひとりに合わせ、理解しやすいようイラストが貼ってあったり、声かけをされていました。 ・1人ずつ、椅子やカバンをかける所に個人のマークが付けられていて、本人にもわかりやすい。	お子さまの発達状況や情報の捉え方に応じて、絵カードや写真を用いて視覚的に分かりやすく提示する等工夫しています。また、気持ちを切り替えやすいように、使い終わったものは目に触れないように片付けています。 引き続き、学園での生活が、お子さま一人ひとりにとって過ごしやすい環境になるよう努めてまいります。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	41	6	3	0	・いつもとても綺麗でした。 ・食事後やおやつの後に先生方が拭き掃除もしてくださり、清潔に保たれていて、とてもありがたいです。 ・トイレがもう少し明るくきれいになればいいなと思います。 ・手を洗う時に洗い場が濡れていると、服が濡れてしまうので、2階のように1階も手洗い場の服が当たる部分を拭けるタオル等があると嬉しいです。 ・外から帰ったあとの手洗いをすぐすべき。 ・荷物が外に置いてあるので、収納スペースが足りない気がします。心地よく過ごせる様な工夫はよくしてくださってます。 ・教室の中が暑いと思います。	トイレにつきましては、トイレットトレーニング中の子ども達が長く過ごす場所と捉え、心地よい空間となるよう、順次改修を進めて参ります。 1階の手洗い場に洗面台を拭くための布巾を設置しましたので、必要に応じてお使いください。 散歩等から室内に戻った時にはリュックを片づけてから手洗いをしておりますが、個々で対応していきます。気になられた時はお知らせください。 収納や空調設備についても、より快適に過ごしていただけるように工夫してまいります。
5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画※ⅱが作成されているか	46	4	0	0	・子どもの現状をきちんと把握した目標をたてていただいていると思います。 ・なぜその課題？と思う事はある。	児童発達支援計画（個別支援計画）は、お子さまの発達状況等をクラス担任、フロアリーダー及び児童発達支援管理責任者が検討を重ねたうえで保護者の方の願い（ニーズ）をお聞きして作成します。 児童発達支援計画（個別支援計画）の内容については、お子さまの発達状況や課題を反映し、適切な支援内容になるよう努めてまいります。
6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	41	4	0	5		児童発達支援計画（個別支援計画）は、学園だけでなく、家庭でも取り組めるような内容にしています。また、定期的に現状把握、課題、目標などについて、保護者の方と個別懇談を行って見直しをしています。 児童発達支援計画（個別支援計画）の内容については、お子さまの発達状況を確認し反映した課題を設定し、適切な発達支援を行えるよう取り組みます。
7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	47	3	0	0	・支援計画の課題を意識してやってもらえているようにはあまり感じない。	児童発達支援計画（個別支援計画）に基づき、それぞれのお子さまの課題について、クラス担任間で共通理解を図りながら支援を行っています。 活動や関わりのねらいを丁寧にお伝えしながら、保護者と一緒に支援を考えていくことができるよう努めてまいります。

8	活動プログラム※iiiが固定化しないよう工夫されているか	45	4	0	1	・身体を動かしたり、友達と協力して遊んだり、手作業をしたり色々な活動があり良いと思います。 ・午前と午後で活動が違ったり、2階や園庭、園外活動と毎日違う活動を行って下さいます。 ・子どもの興味や関心が広がったり、家ではできない事をやって下さったりして感謝してます。 ・活動は固定化までとは言わないが、同じ活動だな感じる時はありました。ですが、繰り返し活動を行う事によって子ども達の混乱が徐々に落ち着いたり、子ども達が理解していないのに一回きりだけの活動では意味がないのかなとも感じました。	お子さまの発達状況や課題に応じ、内容が偏らないよう活動計画を立てています。活動内容は運動や音楽、手指を使った制作などをバランスよく活動に取り入れ、固定化しないよう努力してまいります。 活動の目的やねらいについて、週予定表に記載するなど保護者の方にご理解いただけるようわかりやすい説明に努めてまいります。
9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	15	16	13	6	・交流保育に1ヶ月に1回行かせてもらってます。保育所のお友達も皆仲良くしてくれるので行くのがとても楽しみになっています。行ってよかったです。 ・交流保育に参加しない限りは特に交流はないような気がします。 ・移行通園をするようになって関わることが増えました。 ・お姉ちゃんしか機会はない。 ・今はまだない。	ご希望に応じて地元の保育所（園）または幼保連携型認定こども園で交流保育を行っております。利用についてはお子さまの姿や希望をお聞きしながら進めてまいります。 また、今後に向け、他の子育て支援施設と交流する機会を検討していきます。
10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	46	3	0	1		安心して通っていただけるよう、見学時や利用開始時に説明させていただいております。
11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	46	2	0	2		児童発達支援計画（個別支援計画）を策定する際には、基本的生活習慣、運動・あそび、人との関わりの視点で個々の発達段階を捉え、懇談で保護者の願いを踏まえ作成した児童発達支援計画（個別支援計画）を児童発達支援管理責任者から説明をさせていただいております。
12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング※iv等）が行われているか	45	2	0	3	・子どもが少しでもできたら褒めるを心がけ、できたを増やす方法を学ぶことができました。他のママさんの取り組みも参考になり、とても勉強になりました。 ・前期に参加させてもらいましたが、とても学べる事が多くて勉強になりました。他のママ達の話も参考になりました。 ・今年初めてペアレント・トレーニングに参加しました。普段考えないようなことを細かく考えて、どういう対応をしていけばいいのかを勉強できる良い機会です。ほかの保護者の方との交流も色々な意見が聞けるので、貴重だと思います。	ペアレント・トレーニングは、来年度も引き続き１コース６回を２コース実施予定です。一度受講された方でも、お子さまの成長に合わせて再受講することができますのでよろしければご参加ください。 引き続き、お子さま一人一人に合わせた関わり方を保護者の方と一緒に考えながら、療育を進めてまいります。

13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	47	2	1	0	・色々気にかけて下さり、状況に応じた対応をして下さる。 ・息子の事を理解して、日頃気にかけてもらっているなと思います。情報共有もしっかりなされていて安心しています。 ・毎度、細かいことまで丁寧にご連絡くださり助かっております。 ・単独通園の日はノートをすごく細かく書いてくれたり、電話で様子を教えてくれたりしてくださる日もあるので安心して預けられている。 ・子どもが出来ないと思っていた事が単独ではやっていたりするのを後から知ったりする。 ・積極的にこちらから知ろうとしないとわからないところが多い。	お子さまだけで一日過ごす単独通園の時は、活動の様子や健康面などを療育ノーやト電話を通して情報共有をしています。 また、送迎時にも直接お子さまの家庭での様子を聞いたり、学園での様子をお伝えさせていただいております。 今後はより一層細やかにお伝えできるように努めてまいります。
14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	48	1	1	0	・前期後期の懇談以外にも、送迎時困り事を色々聞いて下さり気持ちが少し楽になります。 ・定期的な面談以外にも時間を作っていただき、悩みを聞いてもらえてとても感謝しています。 ・忙しい中いつも話を聞いて相談に乗ってくださり感謝しています。	担任による個別懇談を年2回行うことで、ニーズや困っていることの相談に応じています。 その他に懇談希望カードを提出していただくと、随時個別懇談を設定させていただきます。ゆっくりお話を伺うこともできますので、ご活用ください。
15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	42	5	0	3	・先日は親の会主催で音楽会を開いていただいてありがとうございました。 ・子どもと一緒だとゆっくり悩み等も話すことができないため、保護者同士で交流出来る機会がもう少し多いと嬉しいです。 例えば、希望者だけでも給食の時間に親だけ別室で食べながらお話ができる等の時間が月に１度でもいいのであると話しやすいかなと思います。先生が給食の時間大変ですが。 ・役員会の時は知らない人ばかりでいづらかったです。	親の会の役員の方には、保護者同士のつながりを深められるよう、様々な活動を企画していただいています。今年度は親の会フリートークや親睦会、音楽会を開催していただきました。引き続き親の会と協力し、保護者同士の連携を図ってまいります。 来年度は役員会の前に保護者同士で学園の給食を試食していただく会を企画しています。ぜひご参加ください。保護者同士が交流できる機会を増やしていきます。
16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	44	3	0	3		懇談希望カードを配布し、いつでも相談がしやすい体制づくりに努めています。 個別懇談以外でも保護者の方の相談はいつでもお受けしますので、遠慮なく担任へお声かけください。
17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	45	3	1	1	・単語数語しか話せない子供の気持ちを、嫌な顔せず優しく察して下さり感謝してます。 ・問題があった時だけでなく、小さな成長が感じられた時に教えてもらえるとありがたい。 ・担任による。	全職員間で報告・連絡・相談を徹底し、連携しながらお子さまの発達状況に応じた適切な発達支援と、お子さんの思いに寄り添った療育に取りくんでまいります。 学園の理念である「生きる力を家族とともに育てる療育～ちいさないっぱみんなのよろこび～」のとおり、保護者とともにお子さまの成長を喜び合えるよう努めてまいります。
18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	40	4	0	6		学園通信「けいこう」を年２回発行し、行事や活動の様子を記載し、保護者の方にお配りしています。 また、自己評価表を保護者総会等でご説明するとともに、玄関掲示板への掲示やホームページへの掲載により、情報提供を行っています。

19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	42	3	0	5		個人情報保護法を遵守し、個人情報の保護・管理について繰り返し確認するなど、情報漏えい事故が起こらないよう取り組むとともに、定期的に公務員倫理研修や法令順守研修を実施しています。
20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	41	5	0	4	・訓練はされていると認識しています。 ・数回しか、親子通園していないため、把握していない。	「不審者対応マニュアル」「感染症・インフルエンザ対応マニュアル」等各種マニュアルを整備し、保護者の方にも周知しています。また、非常災害対策計画、洪水時の避難確保計画、自然災害発生時・感染症発生時における業務継続計画を策定しましたので、来年度からの実施に向け周知してまいります。 防災避難訓練や不審者対応訓練も実施しています。今後は事前予告なしの訓練や引き渡し訓練なども計画し、不測の事態への対応力強化に努めてまいります。
21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	46	1	0	3	・避難訓練の日に、毎回でなくても、非常食を子どもに試食させてもらえると、非常時の食事に備えられるのではないかと思います。	消防計画を整備し、毎月避難訓練（火災・地震）を実施しています。また年２回消防署とも連携した通報訓練を実施しています。訓練の際、親子登園の方は親子で一緒に参加していただいております。 非常食の試食体験は、今後検討してまいります。
22	子どもは通所を楽しみにしているか	45	2	0	3	・担任の先生、みんな大好き！が、学園に行った時に感じられ、とても嬉しいです。 ・毎日楽しく通っています。たまに土曜日に学園に行きたかったと言ったりします。 ・先生やお友達に会うと笑顔になります。それが何よりです。 ・先生やお友だちに会えることをとても楽しみにしていました。 ・楽しみにしているかは分かりませんが楽しく通園してると思います。 ・毎日通うのを楽しみにしております。バスに乗るのも大好きで今では単独でも泣かずに頑張れてます。親子通園が少なくなりましたが、一緒に行く時はそれはそれで喜んでくれてこちらも嬉しいかぎりです。学園の先生達、スタッフの皆さんに感謝しております。 ・バスが大好きで、今年度はほぼ毎日バスに乗れて喜んでいます。 ・毎朝楽しそうにバスに乗っていきます。 ・車から降りて玄関に行くまでにぴょんしたり、昼から行った時にまだ帰りたくないと靴を履くのを嫌がったりする事があった。 ・状態が悪い時夏以外の時は、車から降りるのを拒否する事がなくなった。 ・家では園に行きたくないと言い、登園すると入り口で抵抗しますが、活動中はとても楽しんでいます。 ・口では「行かない」と朝よく言っていますが、いざバスに乗る時や登園する時はご機嫌で行けています。	通園バスは、保護者の方にご協力をいただきながら運行しております。 引き続き、活動や日常生活をの中で、人関係づくりや生活習慣、体づくりを通して、お子さまが安心して楽しく過ごすことができるように努めてまいります。

23	事業所の支援に満足しているか	46	2	2	0	・とても良くしてもらっています。大大満足です。 ・支援として、同じことを繰り返し行って身につけてもらう大切さはわかります。同じ活動があるので、退屈に感じてしまう子どももいるのは仕方ないかなと思いました。 ・担任の話では支援がぼんやりしていてあまり的を得ないように感じる。	支援のねらいや目的を保護者の方と共有してご理解をいただきながら療育をすすめていくことができるよう、努力してまいります。

24　その他、お気づきの点やご意見

ご意見	ご意見を踏まえた対応
【給食】 ・年齢が低い児のおやつにフローズンヨーグルトやヨーグルトが１人1個なのはちょっと多い気がします。 ・最初に配膳される量がもう少し多いと、食べる練習になったり、味や食感、好き嫌いなどがよくわかったりすると思いますし、特に単独登園のときは自分でおかわりを申し出ることが難しい子もいると思いますので、一人前の目安の量をはじめに盛り付けていただきたいと思います。 ・ドライカレーにレーズンはいらない。	給食は子どもたちが、心身ともに健やかに育つために大切であると考えています。配膳された物を食べてお皿が空っぽになった経験は、食べることへの安心感や達成感を味わうことができます。お子さまによっては、最初は少なめに配膳し食べきれたらおかわりをするように支援する場合があります。配膳量や食具、おかわりについては保護者の方と相談して進めてまいります。ご家庭で上手く食べられたことがあれば、ぜひお知らせください。また、単独通園の時の食事量やおかわりについては、療育ノートでお伝えしておりますが、希望の場合は保護者の方に詳しくお伝えさせていただくこともできますので、担任までお尋ねください。 おやつの量についても保護者の方と相談して加減していきます。 メニューについては、食の広がりを目的に色々な素材を使っています。お子さまがよく食べたメニューは、廊下の本棚に給食レシピのファイルがあり、レシピをお持ち帰りできるようにしてありますので、よろしければご覧ください。また、ファイルにないレシピがあれば、用意しますのでお知らせください。
【プール活動】 ・夏の７月８月の２ヶ月間、毎日プールと午睡だけでは、療育として少し物足りなさをを感じます。午睡の時間も給食後すぐからおやつの時間までで長いので、給食後に少し遊んだりする時間があってもいいのかなとも思います。 ・今年から園外活動として友愛プールに行けるようになりましたが、プール後のシャワーが掛洞プール同様、温水で浴びれると良いなと思います。 ・友愛プールが多すぎるように感じました。	水遊びは季節を感じ、大人や友だちと身体を使った遊びができる活動として夏季に取り入れています。また、遊びのための準備や着替えなどの繰り返しで、必要な生活動作に取り組む機会としています。水遊び以外の活動についても、保護者の方にねらいをお伝えしながら行ってまいります。 午睡については、暑い時期に体を休めることで、健康に過ごすことを目的にしています。年齢や体力によって午睡や体を休める時間や方法が変わってきますので、個々に相談して行ってまいります。 今年度は、友愛プールに2クラスずつ行くことができるようになりました。園外プールは親子で楽しむことができ、保護者からの希望が多かったため、11月まで実施しました。寒くなる時期は施設内のジャグジーや温水シャワーを積極的に活用してまいります。
【その他活動】 ・コロナも落ち着いてきたので、通常の活動だけでなく、色々な体験や経験を積めるような行事がもっとあると、新たな刺激があったり、より楽しめたりすると思います。 ・コロナが緩和されつつある中で、園外活動で以前に行われていた外食や電車に乗る体験などが経験できたらありがたいです。学園のお友だち、先生となら一緒に普段はなかなか挑戦しづらいこともできたりするので、そんな機会があればありがたいと思います。 ・園で育てたミニトマトを収穫し食べさせてもらう経験はとてもありがたかったのですが、親・先生が側にいるとはいえ、低年齢児は「窒息を防ぐために4分割に切る」事が推奨されていると思うので、そのまま渡すのは実は心配でした。	園外活動については、子どもたちの生活経験が拡がる機会になるように計画してまいります。 今年度初めて、ミニトマトとさつま芋の収穫体験を実施しました。ミニトマトの試食では、ご心配をおかけしまして申し訳ありませんでした。来年度以降につきましては、親の会と相談しながら検討してまいります。
【相談】 ・年に2回の個人懇談は、療育時間内に先生とお話できるとても貴重な良い機会なので、その2回は別の先生にしていただけると、アドバイスや考え等をさらに伺うことができるので、是非お願いしたいです。	個別懇談は、保護者の方とお子さまについてゆっくりと話をする大切な時間としています。個別支援計画やお子さまの課題や内容によって担当者を決めて懇談をさせていただいておりますが、年度始めにお渡しする個別希望カードを出していただいて懇談を行うこともできます。担当させていただく職員は担任または、児童発達支援管理責任者やフロアリーダーなど担任以外でも希望をすることができますのでご利用下さい。
【施設環境】 ・通っているうちに慣れてきましたが、始めは保護者のトイレと子どものトイレの近さに抵抗がありました。自分達が個室に入っていてすぐ外に男性の先生や保護者のお父さんがいることに戸惑いました。昔からの造りで、おそらく昔は男性の先生や保護者がほとんどいなかったからでしょうか。もし将来トイレをリフォームする機会があればもう少し配慮した造りになっていると良いかと思います。	建物は、児童発達支援センターの指定基準を満たしているものの十分な広さとは言えずご不便をおかけしています。建物の構造上の制約はありますが、今後も計画的に修繕を継続していきます。

【送迎バス】 ・昨年のアンケートでバスの降ろし忘れを言及させてもらったんですが、早急にバスに安全装置を設置していただいてありがとうございました。とても安心して送り出せています。 ・単独の日にバスに乗れる回数が昨年より大幅に増えて、とてもありがたいです。	通園バスについては、安全に運行できるよう乗車人数を決め、保護者の方に直接送迎などご協力をいただいております。今年度、降ろし忘れ防止の装置を設置し、職員間で複数チェックをしております。今後も安全な運行に努めてまいります。
【その他】 ・施設の老朽化。バスの増便。銀行窓口での振込み等の負担を減らして欲しい。 ・帰りの玄関の混雑が凄いのでもう少し時間をズラして欲しいです。（バスの子はしばらく教室で待機するなど） ・学園の職員の皆様方のおかげでここまでやってこられました。今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。	利用料、給食費の納入方法につきましては、その方法を検討してまいります。 玄関の混雑緩和のために、時間差登降園をしておりますが、時間がずれてしまうと混雑してしまうことがあります。子どもたちが落ち着いて靴の脱ぎ履きができるよう時間調整できるよう工夫してまいります。 皆様からの貴重なご意見をもとに、お子さんの成長や、発達につながる支援内容について、引き続き検討し取り組んでまいります。

※ⅰ「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすく　することです。

※ⅱ　「児童発達支援計画」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センターの児童発達支援管理責任者が作成します。

※ⅲ「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

※ⅳ「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して特性を理解したり、特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。